



ロアツ熊本 トップチームへ プロサッカー選手への夢叶う

(C) AC KUMAMOTO



7月26日、ロアツ熊本ユース所属の樋口選手は来季にトップチームへの昇格が内定し、同月30日、記者会見が行われました。御船町にプロサッカー選手が誕生しました。

サッカーのSTART

サッカーを始めたのは、小学校1年生のとき。弟の巧さんが先にサッカーを始め、試合にはよくついて行っていた樋口選手。ある日、サッカーの体験会に参加したとき、とても楽しく、無我夢中でサッカーボールを蹴っていた。サッカーというスポーツに出会い、サッカーの魔法にかかった瞬間だった。

家族の支え

中学2年のときに、プレーに専念するため親元を離れ、御船町在住のロアツ熊本ジュニアユースコーチの家で下宿を始めた。学校が終わると、コーチと一緒に練習場に通い、全力でプレー。中学3年になると、家族全員で御船町へ引っ越した。
 「両親は、自分がしたいことは、全力で応援してくれる。毎日の送迎など自分の時間を削ってまでサポートしてくれた。とてもありがたいと思っている」と両親への感謝の気持ちを表す。
 トップチームへの昇格が決

Profile -プロフィール-

御船高校3年。18歳。ポジションはFW。出身は、熊本県球磨郡山江村。現在は、御船町小坂に在住。サッカー歴は、人吉フットボールクラブ→ロアツ熊本ジュニアユース→ロアツ熊本ユース（在籍中）。ロアツ熊本ジュニアユース時から6年間在籍。今年7月末に来季トップチームへの昇格が内定する



かける
叶
ひぐち
樋口
(小坂)



▲記者会見後の記念撮影 (左から2番目)

「6年間プレーしたロアツ熊本でプロになれてうれしいです。僕のサッカー人生に携わってくれた方々に、感謝の気持ちを伝えたいです。また、1年目から試合に出場し、点を取ることで勝利に貢献し、たくさんのカモンロッソをファン、サポーターにお見せしたい」と堂々と意気込みを語った。

サッカーが大好きだから

樋口選手にとってサッカーとは、「人生の一部のようなもの」。サッカーをしているときは、サッカーのことだけに集中し、どんなにきつい時でも、サッカーが大好きだから、という思いでどんな壁でも乗り越えられる。「出身の人吉や現在住んでいる御船町でもたくさんの人からエールもらい、今の自分がいる。これまで受けた恩を返したい」と感謝の気持ちも忘れない。

ロアツ熊本 ジュニアユース

- ジュニアユースとは、中学生世代が主となるアカデミー部門
- ①ポジション ②得意なプレー
 - ③今後の目標
 - ④どんな選手になりたいか



(C) AC KUMAMOTO
▲すばやいドリブルでチャンスメイク

サッカーができることに感謝し、ロアツを「J1」と話した。
 小さい頃からの夢を叶えた樋口選手は、次なる目標に向かって進み続けている。その目標が新たな夢となり、更なる樋口選手の原動力となっていく。今後も樋口選手の活躍を見逃さない。

御船から3人のジュニアユースたち



おおが よしき
大賀 仁喜 (陣・中2)

①サイドバック②スルーパスやターン
③3年生になったらスタメンをとれるように頑張る④ハードワークをして攻守ともに活躍できる選手になりたい

おかだ しょうご
岡田 祥吾 (高木・中3)

①サイドバック②前線へ突破すること、ドリブル③全国大会目指して頑張りたい④世界に通用するようなプレーヤーになりたい

むらかみ けい
村上 慶 (御船・中2)

①ミッドフィールダー②スルーパスやドリブルで敵をかかわすこと③来年の全国大会に出場できるように頑張る④常にゴールに絡めるような選手になりたい